



学校だより

令和7年度 2月号

令和8年1月30日発行
東京都立足立特別支援学校長
鈴木常義
〒121-0061 東京都足立区花畠 7-23-15
電話 03-3850-6066(代表)

「文化祭 ~足立フェスタ 2025~」

文化祭担当 澤田 大介

文化祭が1月24日（土）に無事に行われました。保護者、地域の皆様、卒業生、中学校（中学部）時代の先生などたくさんの方々に御来校いただき、大盛況のうちに終えられたことに心より感謝申し上げます。

舞台発表は普通科2年生の『マジカルアップ なりたいあなたになれる -up to you-』からスタート。失敗を重ねながらも前向きに仕事に取り組む主人公が、仕事の様々な場面で出会う人との触れ合いを描いたストーリーです。生徒たちは、高いモチベーションをもちらながら練習に励み、日単位で上達が見られました。音響や映像では最新技術を駆使し、生徒一人一人の表情と躍動感がより一層引き立てられる作品となりました。

普通科1年生の演目は、『劇団足立 アラジン』。5月の体育祭時には教員と一緒に取り組みが中心となっていた生徒たちも、今回の練習の過程では生徒同士が協同して準備や練習を行う場面が格段に増え、生き生きとした表情で朗読練習、道具作りを行ってきました。当日は、各キャラクターにぴったりの衣装を着て、嬉々として演じる生徒たちの活躍が光る発表でした。

普通科3年生の演目は、『新解釈 私たちの 走れメロス！とメロディアンヌ！』。生徒たちは、劇練習を通して、この3年間共に支え合った仲間との絆や、人を信じることの大切さをかみ締める機会となりました。山梨県や大阪府など、生徒たちが実際に訪れた場所が作品の舞台となることで、思い出に浸りながらも心を込めて練習に取り組み、立派に発表をやり遂げました。

午前中の最後は、芸能部。19名で活動してきた今年度も、このメンバーでの発表はラストステージです。3年生を中心に、ダンスの振り付けは自分たちで考えました。バンド（歌）チームは、ドラムやピアノ、マラカス、ボーカルなど一人一人が自信をもって演じられるパートに精一杯取り組みました。アンコールではダンスチームとバンドチームが合同で発表を行い、華やかに午前の舞台を締めくくりました。

午後は職能開発科。演目は『走れ銀河鉄道！めざせNo.1』。主人公は様々な星において人々との出会いを通して、働くために必要なことを、現地の人々と考えました。

「挨拶」「感謝」「誘惑」など様々な要素に触れ、未来への第一歩を見付けます。演技での表現に工夫を凝らし、合奏や合唱、ダンスなどいすれの場面を切り取っても、圧巻のステージでした。

今年度の文化祭のスローガンは「飛び出せ青春 仲間とつくる最高の時間～盛り上げよう夢の舞台 文化祭～」でした。このスローガンは、開閉会式の進行を立派に務めあげた生徒会本部役員が考えました。文化祭への取り組みを通して、仲間同士で協力し、一人一人が主役の夢の舞台を作り上げることができたことと願っています。